

# ESSEの 気ままに エリアレポート ～札幌市 白石～



住民と共に  
歩き、花開く

## 街並 白石こころーど

東札幌の札幌コンベンションセンターから、JR北広島駅へ続くサイクリングロードは、正式名称「道道札幌恵庭自転車線」、白石区内を白石こころーどの愛称で親しまれています。

区民の熱い要望から、昭和48年に廃線した旧国鉄千歳線跡地が憩いの場所へと生まれ変わりました。交差点がアンダーパス化され、市街地ながらも信号がなく快適に通行できるところが魅力の1つ。夏冬問わずウォーキングやジョギングに利用する人も多く、子ども達の遠足やマラソンにも活用されています。

また沿道には白石の花の名所の1つである桜並木があり、季節の移ろいも感じられます。



白石の家賃相場は？

JR白石駅	地下鉄白石駅
[1LDK] 4.50万円	[1LDK] 4.76万円
[2LDK] 5.80万円	[2LDK] 6.12万円

## 歴史 「白石」の由来

明治4年、戊辰戦争に敗れた仙台藩の人々は海を渡って北海道を目指し、嵐に見舞われた厳しい航海を経て、現在の白石区の中央に移住しました。

ちょうど11月頃に移住となった彼らは冬の厳しさに耐えながらも、開拓を進め、短期間で住まいを完成。その熱心な働きぶりに感心した当時の開拓使である岩村判事、後の初代北海道庁長官は彼らの故郷である仙台藩白石から名を取り、「白石村」と名付けました。

## 施設 白石区複合庁舎 (白石区役所・えほん図書館)

平成28年11月より業務を開始し、区役所や区民センター等が一体となったこの庁舎は区民の日々の手続きや交流の場として活用されています。

1階の白石郷土館では資料やパネルの展示から、白石の歴史を直に感じることができます。また6階には札幌市初のえほん図書館があり、大型絵本や布の絵本など、種類も様々な約2万冊もの絵本が揃います。食堂では白石のマスコットキャラクターのしろっぴーをあしらったしろっぴーパフェや「白石」の由来となった仙台白石の白石温麺といった白石ならではのメニューも味わえます。

## 鉄道 2つの白石駅 (JR白石駅・地下鉄白石駅)

明治16年、手宮(小樽市)-幌内(三笠市)間に石炭輸送のため北海道初の鉄道 幌内鉄道が開業し、白石駅(現JR白石駅)が誕生。その後白石と定山溪を繋ぐ定山溪鉄道が敷設され、大正15年には苗穂-苫小牧間に北海道鉄道が開通、苗穂への乗り入れ駅として活用されました。また昭和31年には本郷通で土地区画整理事業と本郷商店街が発足し、駅前には商店街と住宅街で賑わいを見せました。

後に定山溪鉄道等の廃線がありましたが、昭和51年の地下鉄東西線開通、また厚別副都心計画もあり地下鉄駅側に人口が増加していきました。以降もJR駅のリニューアルや地下鉄駅に直結した複合庁舎がオープンし、住みやすい街づくりが行われています。